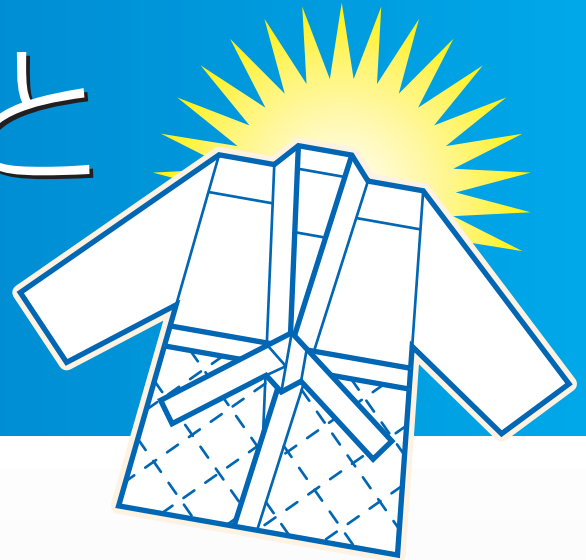


柔道事故と 脳損傷



27年間で108人。

この数字は、1983年から2009年の27年間で中学・高校での柔道事故で死亡した子どもの数です。年平均4人の死亡者に換算されるこの数字は、他のスポーツに比べて、明らかに突出した数字であり、競技人口あたりの死亡率として計算すると、それは、異常ともいえるほどの高い数字を示します。後遺症によって、現在も遷延性意識障害（植物状態）や深刻な高次脳機能障害などに苦しんでいる重度障害者は、この10年間で70名にもものぼります。

これ以上の被害者を生まないためには、発生原因を明らかにし、一刻も早く予防対策を講じる必要があります。

このシンポジウムがその一石となることを願います。

TKP 東京駅日本橋ビジネスセンター



■ 日 時 2010年 6月13日(日)
13時～17時

■ 場 所 TKP東京駅日本橋ビジネスセンター
・地下鉄「日本橋」駅A5出口直結、
・東京駅から徒歩5分

- 講演予定者 (講演順)
- | | |
|---------------|---|
| 内田 良氏 | 国立愛知教育大学教育学部講師 |
| 野地 雅人氏 | 神奈川県立足柄上病院脳神経外科部長
日本体育協会公認スポーツドクター
神奈川県アマチュアボクシング医事委員会委員長
神奈川県体育協会医科学委員会委員 |
| 山田不二子氏 | 認定NPO法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク理事長
内科医 |
| 村川 弘美氏
他1名 | 2009年7月、滋賀県秦荘中学1年生の長男を、
柔道顧問に投げられ急性硬膜下血腫で亡くす |

■ 参加費 2,000円

■ 主 催 全国柔道事故被害者の会 <http://judojiko.net/>
申し込み・問い合わせはホームページからお願いします。

■ 後 援 朝日新聞厚生文化事業団